

Leadership Training Course

パート1

—福音を体験し分かち合おう—



目次…

1. 神の愛と赦しを体験するには p.2～
2. KGP を用いての伝道(その1) p.3～
3. 聖霊に満たされるには p.4～
4. KGP を用いての伝道(その2) p.5～
5. 大宣教命令を成就するには p.7～

名前: _____

クラス1 神の愛と赦しを体験するには

1. 信仰によって救われる

信仰とは_____と
私たちの信仰の対象は_____と_____

※私たちの救いのために、神さまがしてくださったことは何でしょうか？

ローマ 3:23-24、ローマ 6:23、ヘブル 9:23-28

ローマ 5:8-11、1 ペテロ 3:18、ヘブル 10:10-14、エペソ 2:1-10

2. 霊的呼吸

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。1ヨハネ 1:9

適用

- A. 聖霊にあなたの今までの全ての罪を示して下さるように祈りましょう。
- B. それらの罪を一つ一つ書き出し、神の前に告白しましょう。
- C. その紙全体に、大きな文字で、**1ヨハネ1:9**の神の約束を書きましょう。
- D. その紙を破って、神が全ての罪をゆるして下さったことに感謝しましょう。
- E. 他人につぐなうべきものがあれば、そのようにしなさい。
- F. あなたが自分で知る限りの罪を告白したその後にまだ罪責感が残るならそれは神からのものではなく、悪魔からきたものです。なぜなら、神のゆるしは完全だからです。(詩篇 103:12)

クラス2 KGP を用いての伝道(その1)

はじめに

1. 伝道小冊子『KGP』の紹介 デモンストレーション

2. 『KGP』を用いる利点

- A. 簡潔明瞭で必要なことがすべて含まれている。
- B. 会話を切り出しやすい。「意見を聞かせてほしいのですが、よろしいですか」と言えばよい。あとはそのまま読も進める。
- C. どのようにキリストを信じるのかがはっきり提示されている。
- D. キリストを受け入れるための招きが含まれている。
- F. 次に何をどのように言ったらよいか分かっているので、自信を持って話せる。
- G. 短時間のうちに、キリストを受け入れる方法を伝えることができる。不必要なことを本文に注釈として加えない。しかし聖霊の導きを大切に、親しみやすく話し、必要なら、相手の質問に『KGP』を読み進む途中、二、三の聖句を相手に読んでもらう。
- H. 『KGP』は、他の人に伝道の仕方を訓練するのに役立つ伝達可能な方法である。

3. 二人一組で練習

4. 実践

誰かに『KGP』を読んであげましょう。

『KGP』に話題を移すときの一例：

「この小冊子は聖書の内容をまとめたものです。よければ、一緒に読んで、感想や意見を聞かせてほしいのですが、協力していただけますか？」

※キリストを信じた人には、13 ページ以下も丁寧に読んでいきましょう。可能であれば、48 時間以内に会って、フォローアップのバイブル・スタディをしましょう。会えない場合は、近くの教会を紹介して、教会に集い、続けてクリスチャン生活に励むように勧めましょう。

伝道における成功とは…

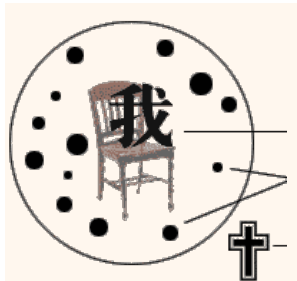
_____の力によりたのみ、
こちらから_____を伝え、結果は_____おゆだねすることである

クラス3 聖霊に満たされるには

1. 聖霊とはどのようなお方ですか？

ヨハネ 14:16-18、14:26 1 コリント 2:6-12、3:16
ヨハネ 15:26、16:7-16

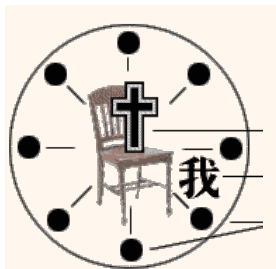
2. 御霊に満たされるとは？ ※御霊に満たされるとは、どのような状態のことでしょう？



私自身が人生の王座に
生活の諸要素はバラバラ
キリストは人生の外



私自身が王座に
キリストは人生のうちに
諸要素はバラバラ



キリストが人生の王座に
私はキリストに従う
生活の諸要素は神のご計画に調和している

3. 御霊に満たされるのは、信仰による

A) 神の命令

また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。エペソ 5:18

B) 神の約束

何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神に対する私たちの確信です。私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神に願ったその事は、すでになえられたと知るので。1ヨハネ 5:14-15

「神さま、私はいつの間にか、私の人生の王座に、私自身が座っていました。赦してください。どうか、もう一度、あなたご自身が私の王座に座ってください。私の人生を導いてください」。

クラス4 KGP を用いての伝道(その2)

1. 伝道における成功とは:

2. KGP に話を移すのに役立つ質問例

- A. 「この KGP という小冊子を、だれかに読んでもらったことがありますか？」
- B. 「実は今、この聖書のポイントをまとめた小冊子を読んで、いろいろ人の意見を聞いています。〇〇さんの感想も聞きたいのですが、少しお時間取ってもらえますか？」
- C. 「この小冊子は私にとって役に立ちました。ぜひ紹介させていただきませんか？」

3. KGP の提示方法

- A) KGP の最も簡単な使い方は、書いてあるとおりに読んであげること。
- B) 無理やりキリストを信じるよう強要することはない。(人をキリストに導くのは、聖霊の働き)
- C) 話題をそらすような質問が出たときは、読んでいくなかで答えが出ることも多い。このように言うといい。「いい質問ですね。とりあえず最後まで読んで、それからでも良いですか？」もし、適切な答えが見出せなくても慌てない。
- D) 相手が無反応なら、「ここの意味はわかりますか？」と尋ねてみる。
- E) 相手に見やすいように手に持つ。ペンか鉛筆を持って、重要なポイントを指し示す。
- F) 祈るときに、書いてあるとおりの祈りでかまわない人と、自分の個人的な祈りをしたい人と様々なので、心を配ること。また、声に出して祈るのが苦手な人もいる。
- G) 肯定的な態度で！(×「信じたくないですよね…」 ○「信じてみませんか？」)
- H) すでに KGP を知っているという人に出会ったら、読んだ時の感想や、何か質問がないかを聞いてみる。必要なら、もう一度読んであげること。
- I) 最初の伝道で、相手がキリストを受け入れなくても、またいつでも会えるように心を配る。(連絡先を交換する。他のクリスチャンの友達に紹介する。聖書や良い読み物をあげる…等。その人のため祈ることを忘れない。)

4. こんなとき、どうする？

質問1. 「あなたの今の状態を最もよく表しているのはどちらでしょうか？」

- A) 「左」、「中間・わからない」⇒次の質問2へ
- B) 「右」:今から練習します。
 - ・質問2はしない。
 - ・「続きを読んでいきましょう」と言い、12ページから読み始める
 - ・祈りの文章を読み、「今までこのように祈ったことはありますか？」

質問2. 「あなたの人生としてどちらがよいと思いますか？」

- A) 「右」⇒そのまま読み進める
- B) 「左」「中間・よくわからない」⇒今から練習します

・「将来キリストを受け入れたいと思う時があるかもしれません。その時、どうしたらいいのかを、お伝えします」。続きを読む。

※伝道の主な目的は、キリストを受け入れる方法を相手に伝えることです。伝道する時は、いつも祈りの所まで読み進めるようにしましょう。この祈りは、相手にキリストを受け入れる方法について明確なイメージを提供してくれます。将来、その人がキリストを信じたいと願う時に、キリストを受け入れる祈りを紹介することは、とても重要です。

質問3. 「これは、あなたの心を表していますか？」

- A) 「はい」⇒一緒に祈る
- B) 「いいえ」⇒今から練習します

- ・「キリストを受け入れたら、何が起こるのかお伝えします」。
- ・P15を開き、5つのポイントの動詞を、現在形に変えて、読む
 - 「心の中に来てくださいました」⇒「来てくださいます」…。
- ・P12に戻り、再度尋ねる。「どうでしょう？ イエスを受け入れてみませんか？」
 - A) 「はい」⇒一緒に祈る
 - B) 「いいえ」⇒時間を取ってくれたことを感謝し、KGPを渡して、わかる

クラス5 大宣教命令を成就するには

1. 大宣教命令とは何か？

マタイ 28:19-20

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

使徒 1:8

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

※イエスがこれらの言葉を語った対象となる人々は誰ですか？

イエスが語った内容は何ですか？

2. 聖書から見る 宣教の拡大

- 使徒 19:8-10
- 使徒 17:1-15、I テサロニケ 1:4-10
- 使徒 16:9-40、ピリピ 1:3-7

※どのように、各都市で福音宣教が拡大していききましたか？

パウロは各都市にどれくらい滞在しましたか？

宣教が拡大した鍵は何でしたか？

II テモテ 2:2

多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。

霊的增加 (伝道)

霊的倍加 (救霊⇒育成⇒派遣)

3. Movements Everywhere

世界中至るところでムーブメントを(主の弟子、連鎖反応！)

大宣教命令成就に向けての行動計画

行動計画を立てる上での提案

- ① あなた自身をキリストにささげ(ローマ 12:1-2)、聖霊に満たされて歩む
- ② 神の導きを祈る
- ③ 心に浮かぶ人たちへの関わり方(伝道・弟子づくり)を紙に書き出す
- ④ 学ぶべきことがあれば積極的に習得する
- ⑤ 時が良くても悪くても、愛を持って福音を伝え続ける(Ⅱテモテ 4:2)

| 関係 | <u>増加対象者</u> ・具体的行動 | <u>倍加対象者</u> ・具体的行動 |
|------------------------------|---------------------|---------------------|
| 家族・親戚 | | |
| 友達・同僚・ 知り合い (学校・職場などで) | | |
| 教会 | | |
| その他 | | |